



# + ? + + ? + + ? + + ? + + ? h + + ? h

#### みんなほんもの

トマトがねえ トマトのままでいれば ほんものなんだよ トマトをメロンに みせようとするから にせものに なるんだよ みんなそれぞれに ほんものなのに 骨を折って にせものに なりたがる

みつお

+ ? . h + ? . h + ? . h + ? . h + ? . h

「いのちいっぱい」所収

皆様、新しい年を元気でお迎えでしょうか。 昨年の下半期に産院を舞台にしたドラマが 放映され、話題になった頃に遅ればせながら 私も見てみました。

当事者である妊婦は勿論のこと、その家族 や病院のスタッフの思い等、どれ一つとして 同じものはなく、"いのち"が誕生することの 重みを感じずにはいられませんでした。

お母さん方もお子さんの誕生にまつわる秘 話は、お子さんの人数だけもっておられるこ とと思います。

苦しみから解放されて、『生まれてきてくれ てありがとう』と心から感じたあの日の記憶 は、不思議と何年経ってもよみがえってきま す。あの時の喜びが、子育ての長いドラマの スタートになっているからかもしれません ね。

今年も、それぞれのご家族のドラマの続き が、ハッピーでありますように!!

稲美町のホームページからも、この子育て情報新聞「もも」をご 覧いただけます。

また、月初めに支援センターのスタッフが子育てに関する思いを 綴った「育児日誌」も掲載していますので、あわせてご覧ください。



# ~ 421-1-~

### 



先生方、ファミリーサポートの皆さん、そして、一緒に受講したお母さん方、 ありがとうございました!

北口温子

羽毛布団にくるまっていたい寒い季節がやってきた。深夜、むっくり起きて授乳の準備。娘のためなら寒さも眠気も吹っ飛ばす! すやすや眠る寝顔に癒され、さぁ、また寝るかぁ。 きっとあのお母さんも、あのお母さんも今頃頑張ってるんやろなぁ・・・。

~ 出産を機に、これまで通勤の都合で住んでいた姫路を離れ、主人の実家がある稲美町に引っ越してきました。出産までにと、臨月のお腹を抱えて引越し。待ってましたとばかり、引越しの4日後に無事娘が生まれてきました。

実家で先輩ママの姉に育児の手ほどきを受けながら、何とかかんとか3週間をやり過ごし、いざ稲美町での生活がスタート。家事も育児もバランスよく・・、とはなかなか行かず、母乳にこだわって、明けても暮れてもおっぱいのことばかり考えていました。スーパーに買い物に行ったり、娘を連れて友達と遊ぶ自信も余裕もなく、行ける場所といえば実家くらい。毎日娘と2人、ほとんど人と会話せず、ソファに座って、おっぱい、おっぱいの日々でした。

そんな時、赤ちゃん訪問で頂いた子育て支援センターのチラシで、「ぴよぴよお勉強会」の存在を知りました。

(O歳児の託児か・・。行きたいけど、でもなぁ。主人の両親に見てもらうか・・。いや、6回もなぁ。育児の不安や悩み、疑問は毎日募るけど、なかなか答えは見つからない。あってんのかなぁと思いながらも、大人になると教えてもらえる機会はどんどん減って、でも子育てなんて知らないことだらけ・・。よし!思い切って自ら学ぶ!)

娘の為に少しでもプラスになればと、参加することにしました。6回の勉強会では、ベビーマッサージや体調管理、離乳食、情緒を育てる親の関わり方や絵本の重要性など、親が知りたいと思うポイントを、しっかり押さえて教えていただきました。講師の先生方は、小道具を沢山準備して熱心に教えてくださり、支援センターの先生の何気ない一言が、すっと心に響きました。お母さん同士横のつながりもでき、失敗談、成功談を話しながら、和気あいあいと学ぶことができました。同じ〇歳といっても、月齢が違えば全く状況も違い、また2人目のお子さんという方もおられたので、4か月で参加した私にとっては、娘の少し先、家族の少し先を想像することができる貴重なお話でした。どの講座も収穫あり!毎回、来た時よりもパワーアップして帰れるようなそんな気持ちで、主人と共有しながら、生活の中にふと意識して実践できることが、私たちの小さな自信になっていきました。また、心配だった託児も、ファミリーサポートの方々が、いつも親切に、温かく接してくださり、家族以外の人に優しくしてもらうことも、子どもにとって大切な経験となり、成長につながったと思います。~

振り返ってみると、あっという間の勉強会でした。娘のためにと参加したのが始まりでしたが、今では 買い物先や公園で、参加者のお母さん方や、講師の先生とお会いして挨拶したり、親切にしてもらっ たりと、稲美町が"親しみのある自分の町"にかわりつつあります。

育児は始まったばかり。これからもきっと悩みは尽きないけれど、悩みながら迷いながら笑いながら 過ごす日々が、いつか娘と私たちの温かい思い出になるまで、主人と両親と、そして稲美町の仲間と 一緒に子育て頑張るぞ~!! *エリザベスママの* 「一年の計は・・・」





# MB. BOZUIEV-P

### 《その1. A家 3歳長男の巻》

昼間に、わたしがリビングで少しうとうとしていると、息子が毛布をもってきて、そっと私にかけてくれました。「ちょっと寒いかなと思って」と言いながら。いつも遊びに夢中になりながらも周りをしっかり見ていて、そんな気配りまでできるようになったんだなぁと、涙が出そうになりました。

### 《その2. K家 3歳長男の巻》

散歩の時は、「右見て、左見て、右見て、はい 進む」と親子で声をかけ合って、交差点を渡っ ています。たまに調子に乗ってくると、「自分の 命は自分で守る!!」のような掛け声になるこ ともあります。先日の散歩の時、5歳の姉と息 子が、ため池に向かって大きな声で「自分の命 は自分で守る」と叫んでいます。「何?」と思っ て覗いてみると、放水に巻き込まれて死んでし まった魚たちに声をかけていたのでした。

### 《その3. M家 2歳長女の巻》

父親が木でままごとキッチンを作ってくれて、毎日トントンしたり、「はい、ごはんみんなで食べようか」・・・と嬉しそうに遊んでいます。ままごとキッチンのレンジの中に、夕食に使うえのきやいんげんが入っていたり、自分の飲みかけのお茶も入れていました。

### 《その4. K家 2歳長女の巻》

最近、口調が私ソックリなことが増えてきました。私を子ども役に見立てて、お世話(食事では、「エプロンしてね」「これはフォークで食べてね」「ダメよ!」や、トイレで「出たら呼んでね~」等)をしてくれます。小さいお母さんのようです。

# 子育てインフォメーション

《間合先》 子育で支援センター 62492-9090

## 

下記の時間帯に子育てルームを開放しています! 親子共々、ステキな出会いの場にしてくださいね。 おじいちゃん、おばあちゃんもお孫さんと一緒に気軽にお越しください。

#### 1月の開放日

【午前(9時~12時)-水曜日と、第4月曜日】

6(水)·13(水)·20(水)·25(月)·27(水)

【午後(1時~4時30分)】

月曜日~金曜日

【ところ】いきがい創造センター 子育てルーム

【対 象】未就学の子どもとその保護者

## 

日常の子どもの様子や困っていることを気軽に話し合ったり、親子のふれあいを大切にリラクゼーションできる遊びやわらべ歌を一緒に体験してみませんか。

栄養士、保健師、助産師、子育て支援員が相談に 応じます。申し込みは要りません。

【と き】1月22日(金)10時~11時30分

【ところ】いきがい創造センター 多目的ホール

【対 象】〇歳児とその保護者

【持ち物】バスタオル

# 四島語がは徐し急のお知ら世

#### ☆えほん会

日時:1月9日(土)14時30分~

☆スプーンおばさんのおはなし会

日時:1月16日(土)14時30分~

☆ よちよちえほん会

日時: 1月26日(火) 11時00分~

《場所》図書館1階のおはなし室

文化の森にある図書館では、上記のように図書館司書さんや読み聞かせボランティアの皆さんが、楽しいお話を聞かせてくださる機会があります。

親子でお出かけくださいね。

#### 【問合先】

稲美町立図書館 ☎492-7800



# 子育で悩み相談

日頃の育児や人間関係で、少し疲れを感じている時、誰かに話をすることで、気持ちが軽くなることがあります。相談内容については、秘密厳守いたしますので、気軽にお話してください。

※託児を希望される方は、申し込み時にお伝えください。

【と き】1月19日(火) ①13時~14時 ②14時~15時

【ところ】いきがい創造センター 相談室

【相談員】枝川京子先生(臨床心理士)

【申込先】子育て支援センター 16492-9090

